

南紀高等学校

実施日時	令和2年5月22日（金）～令和3年2月18日（木）
参加者	生徒253名、教職員75名、地域住民等0名 計328名（延べ人数）
実施内容	地震シェイクアウト訓練、津波避難訓練、心肺蘇生法講習会、DVD鑑賞（津波に備える）、アルファーマの試食等

ねらい

1. 実施形態

定時制昼間部、定時制夜間部の課程別にそれぞれ生徒の実態に即した実施形態とするために、特定の日に絞らず、複数回に分散して実施。生徒指導部を中心に担任や関連教科の教員が担当を分担する形式で準備を進めた。

2. 使用教材

気象庁津波防災啓発DVD「津波に備える」津波・防災の日をもとに担任用資料を作成
稲むらの日学習資料・世界津波の日パンフレット等

主なプログラム及び概要

1. 実施概要

(1) 対象生徒：昼間定時制81名

夜間定時制14名

(2) 開催日と実施内容

・5月22日（金）夜間定時制

大地震後の津波を想定し、屋上への避難を実施。その後、田辺市の過去の津波被害について講義を行った。 生徒12名

・8月17日（月）昼間定時制

大地震後の津波を想定し、校外へ避難をする予定であったが、酷暑のため教室でDVD「津波に備える」を鑑賞。 生徒81名

・9月24日（木）夜間定時制

5つのテーマ「緊急地震速報」「仙台空港での地震発生の様子」「釜石の奇跡」「避難体験談」「学校内の防災」についてDVD及び講演。アルファーマの配付。 生徒12名

・11月5日（木）昼間定時制

大地震を想定しシェイクアウト訓練後、近くの高台への避難訓練。アルファーマ配付。 生徒81名

・2月18日（木）夜間定時制

「心肺蘇生法講習会」心肺蘇生の正しい知識と実技を修得するため、田辺市消防隊員を講師に招き、胸骨圧迫とAEDの使い方を学習する。 生徒6名

・3月10日（水）昼間定時制

「田辺に津波が・・・」講演過去のデータ及び写真・映像から今後の津波対策を考える。 生徒61名

参加者感想文

- 「津波の発生や被害についてよくわかった。」
- 「アルファーマを始めて食べたが、結構普通に食べられた。」
- 「田辺での被害について詳しく知れたので良かった。いつ地震が来てもいいように備えが必要だと思った。」
- 「稲むらの火のことを勉強できてよかった。」

成果と課題

【成果】

- 地震や津波への対応についてしっかりと考えさせることができた。
- 夜間に発生した地震や津波への対策について再認識し感想を共有することができた。
- 緊急地震速報のJアラートや警告音への関心や認識の定着が進んでいると感じることができた。
- 賞味期限が迫っているアルファ米の試食を考えていたが、今年度は配付し自宅で食べてもらった。結構好評であった。
- DVD視聴は15分～20分程度が集中するには適当との判断で、いくつかの事例について活用できた。

【課題】

- 定時制昼間部、定時制夜間部、通信制田辺学級、通信制新宮学級で防災学習を一齐に実施する機会として、学校祭での学習発表なども組み合わせながら、生徒の実態に応じた防災学習を3課程で計画的、段階的に進めていく予定であったが、学校祭の内容変更に伴い実現には至らなかった。
- 避難所としての物品を確認したり、避難所運営訓練、避難マップの作成など、より具体的に実践的な学習形態への移行による学習内容の充実をはかりたい。
- 定時制夜間部での生活時間に応じた夜間の時間帯に発生した防災についても、学習内容を研究する必要がある。
- 被災後の社会制度や補償問題について学習を深められるような取組も考えていく必要がある。
- 昨年昼間部で実施したごりょうくんの地震体験を今年度は夜間部での実施を考えていたが、コロナ禍の影響で実施できなかった。次年度は夜間部生徒にも体験させてやりたい。

防災学習の様子



シェイクアウト
訓練の様子



避難訓練の様子



DVD学習の様子



生徒指導部長講話
の様子



アルファ米作りの
様子



配布用アルファ米